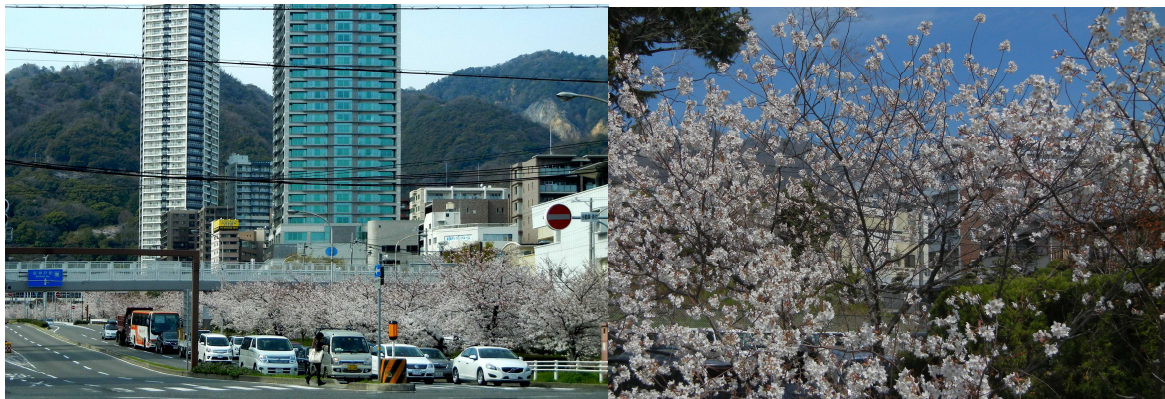


【2013年4月 from Kobe】

新年度に向けて また ぶつぶつ です 3月31日イースターの日に



アーモンドの花 花言葉は「希望」「真心の愛」「永久の優しさ」
今年こそ みな分かち合える 明るい平和な年 になってほしいものです
3月31日は「復活日・イースター」思いは同じ
は かり知れない神の愛 共に生かされている私たち
自らをふりかえり、家族・周りの人たち・地球の人たちに思いを……

「信仰と希望と愛、この三つはいつまでも残る
その中で最も大いなるものは愛である」
愛は愛する者のために自分を犠牲にします。」

真実の徹底的な愛は自分の命を愛する者のために捨てます
コリントの第1の手紙「愛の賛歌」より



◎ 4月になって 神戸でも桜が咲いて、街に数多くの人々が繰り出して、華やか。
この華やかさが好きなこの頃です。

でも、東京では 桜の話題はもう 1週間も前。

TVのニュースショーのはしゃぎぶりも もう東京では過去のものに……。

でも 関西よりも 緯度の高い東京で桜が1週間以上も早く咲く。なぜ……

この異常さにみんな眼がをむけないのでしょうか……

人口集中と都市化によるヒートアイランド化がここまで進行している異常さには
無神経でいられない。

次から次へ頭の上を刹那的に飛び越えてゆく。これで本当に良いのだろうか……

「東京に更に投資を呼び込んで、東京が元気になったら、それが地方に波及する」

そんな旧態依然の政治・ビジネスモデルを振りかざすこっけいさに啞然としているの
ですが、どうでしょう。

今 東京は分散化へ向かわないと大変なことになると心配するのですが……。



左から右へ顔を動かすと「娘さん」
に見えたり、「婆さん」に

だまし絵

しっかりとした眼を養わねば

既にあの東日本大震災にあふれ出た都市難民そして 脆弱な都市構造。

防災都市化への道が急務な時に また、東京オリンピックだという。

それも 東日本大震災からの復興記念だという。とってつけたような東京の我流。

異常が異常にみえぬ都市集中の中 さらに東京に投資してどうするのでしょうか……

かつて、「選択と集中」といい続けて、周辺を切り捨て、一極集中を進めた結果、さんさんたる荒廃の企業群を生んだ二の舞に
ならねば……とっている。

◎ 先日見ていたTVドラマの中で

「**真実も正義も その立つ位置がかわれば、変わるのだ。絶対の真実や正義などありえないのだ**」と傲慢に言い放ち、豹変する姿が、実に今の世相を反映している様に見えました。

「それやったら **立つ位置 初めにみんなにみせろ**」と言ってみるのですが…… 実に印象的でした。

最近の世相をみていると どこもかしこも こんな構図がひしめいているのではないかと……と。

立つ位置をあいまいにして、変わり身の早さを信条に「**選択と集中 スピード経営**」を旗印の即物的な収益・マネーゲームに終始するビジネスモデルが主流の昨今 本当にこれでやっていけるのだろうか……と。

「**急激に大きくなった会社はやっぱり 急激に衰える。その点 百年企業は急激な収益増は出さないが、もし、衰えるとしても百年かかる。そんな会社にはスピードを追わぬしっかりした百年理念が流れている どちらのビジネスモデルにしがみつつか 企業の度量が問われる**」とよく聞いたことがある。

その時には、「**負け惜しみの美学か……**」などと自嘲気味になっていましたが、その後の時代の流れが、**真実を証明しているか**に見える。

そんな時代 自戒の絵として、下に示す「**騙し絵**」をよく「**某半導体メーカーの若い技術屋と見ていたなあ……**」と。

自分には **娘さん**に見えるのに **相手は婆さん**と見ている。

一枚の絵にこれだけの視点の違いがあること これをよく頭に刻んでおかねばならぬ。真実を見間違ふ認識のズレ これを知っていて操るやからが多くなっている昨今 以前にもまして **じっくりと見抜いてゆくことが大事な時代** 自分の立つ位置をしっかりとせねば……と思う。

この絵 どう見えませんか……



おばあさん??? 美しい美女???? さあ どうですか……

「**娘さん**」に見えたり、「**婆さん**」に見えたり **自戒の絵 人それぞれの思いで変化する だまし絵**

四月 新年度 若者が多数 新しい出発をする中 集中・中央ばかりに眼を向けず、分散・地方にも眼を向けてもらいたい。まだ、その糸口さえよう見つけぬ私ですが、それが弱者切捨てからの社会変化への糸口にならないか……。そんな思いを込めて、昔からよく知る騙し絵を新しく出発する若者たちへ送りたい。

先日 TV を見ているとヨーロッパで活躍するサッカー全日本の選手が

「**今は自分でゴールに迫るより、パスしてほかの仲間を生かした時の方が嬉しい。**

常に自分を励まし、鼓舞してやってき行く姿勢はかわらぬが、自分の中で大きな変化が生じている」

と語るのを聞いた。

厳しいヨーロッパ サッカーで、ゴールに猛進する姿を見せつけながら 自分の道を切り開いてきた彼には意外な言葉。彼の言う今の考えが主流になってくれれば……と 今後の活躍に期待したい。